

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日本鑄造株式会社 素形材事業部 福山製造所

(2) 事業所の所在地

広島県福山市鋼管町1番地

(3) 業種

銑鉄鑄物製造業(鑄鉄管、可鍛鑄鉄を除く)(2351)

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成19年度を基準年度とし、平成28年度から令和2年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

日本鑄造株式会社 環境方針 理念 日本鑄造株式会社は、『多様化する企業環境に対応し、次代のニーズを先取した素形材からエンジニアリングにいたる最高の商品を提供すると共に、常に未来を見つめ知恵を出し、感性を磨き、豊かな生活環境づくり貢献する。』という企業理念の下、地球環境の保全が人類の共通の最重要課題の1つであることを認識し、長期的で幅広い観点に立って、環境負荷低減を継続的に図りながら、環境と調和と共生を目指して事業活動をして参ります。行動指針 日本鑄造株式会社は、『鑄造』を核とした鑄造製品、鑄造機械、産業機械、橋梁用部材、構造用ジョイントおよび景観デザイン製品の生産を中心とした事業活動において、環境負荷をできる限り少なくする企業として以下の行動を履行する。1.省エネ・省資源・産業廃棄物の減量化・リサイクル活動に積極的に取り組み、地球規模の環境改善に努めます。2.環境保全活動の継続的な推進により、環境汚染の未然防止を図るとともに、環境改善に努めます。3.本方針達成のため、目的・目標をたて継続的な改善を進めるとともに、環境監査を行い確認し、見直しをして参ります。この方針は、社内外に公表します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成19年度	平成30年度
二酸化炭素	7,790	9,339

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成19年度	平成30年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成19年度	平成30年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC) (PFC) (SF6) (NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

9,339

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成19年度)	削減目標		目標年度 (令和2年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	7,790	1.0	-1,471	9,261
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計	7,790	1.0	-1,471	9,261
温室効果ガス みなし排出量		-		9,261
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は排出量年1.0%の削減率。電気は中国電力(株)の実排出係数を使用			

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

溶鉄 t

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成19年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和2年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	7,790	34,090	0.23	-265.2	9,261	11,063	0.84
非エネルギー起源CO ₂	0	34,090	0.00	0.0	0	11,063	0.00
メタン	0	34,090	0.000	0.0	0	11,063	0.000
一酸化二窒素	0	34,090	0.00	0.0	0	11,063	0.00
その他 温室効果ガス	0	34,090	0.00	0.0	0	11,063	0.00
総排出量	7,790	34,090	0.23	-265.2	9,261	11,063	0.84
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	3,673	34,090	0.11	-663.6	9,261	11,063	0.84
目標設定の考え方							

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気の使用量を1%削減	○冷房温度・暖房温度を事務所・詰所において管理。○休憩時、休日停止時不要時停止。生産に直接・間接に付帯する設備作業終了後の停止。○効率の高いランプ(LED)への更新。○受電機器設備計測・記録管理。○電気炉熱効率管理。○パソコン不要時の適宜電源管理。
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

別紙 日本鑄造㈱福山製造所 エネルギー管理組織図

(2) 実施状況の点検・評価

福山製造所の安全環境防災管理委員会において、定期的に温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検をおよび問題点の検討を行い、環境監査において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上をはかる。

(3) 計画書等の公表

製造所内で閲覧する。

日本鑄造(株)福山製造所 エネルギー管理組織図

